

こどもはみらい

Children are the future

Let's go
選挙に
行こう
to vote!

学

マツモト マナブ



このまちで働き、遊び、
暮らしをつくる。
ここで暮らすことを選ぶまちに。



「このまちが好き」を拡散したい。
由利本荘の語り尽くせぬ魅力を様々な形で
発信し続けています。

◆◆◆◆◆ 松本学 マツモトマナブ Profile ◆◆◆◆◆

昭和 54 年、旧本荘市石脇生まれの 42 歳。ただひたすら好きなことを突き詰めて生きてきた。音楽に出会い、鳥海山に出会い、自分の好きなことを貫いてきた。結婚し、子どもが生まれ、自分という幹に枝葉ができ、まちのこと、人のこと、子どもの未来のことを考えたとき、これから自分がすべきことが見えてきた。妻と娘と妻の両親と 5 人で西目に暮らす。

1979 年 旧本荘市石脇生まれ
新山小、本荘北中、由利工業高校卒業
高校時代はアルバイトとダンスにあけくれる

1997 年 音楽を学ぶため上京
2000 年 音楽活動を継続しつつ帰郷
BU-RAI-HA、プライスモーキー等の音楽ユ
ニットのプロデュース
HIPHOP アーティスト松本アンダーグラウンド
としてライブ&CD リリース

未来想像期

音楽 & アート期

2010 年 鳥海山頂山小屋管理人になる
→ 今年も山頂で登山客を迎える
結婚し、西目へ
→ 2013 年 娘が生まれる

2011 年 鳥海山頂美術館オープン
→ 館長として今年 10 回目の開催
鳥海高原矢島スキー場パトロールとして勤務

2014 年 鳥海山木育推進センター開設
2015 年 羽後本荘駅前に、木工の小松金物店開店
2017 年 株式会社鳥海トラライブ設立
→ 代表取締役として現在 5 期目

山頂自由人期

事業奮闘期

こどもたちの未来のために今できること。 こどもたちがつくる未来につなぐこと。 まちの未来は、こどもの未来。

約 3 年の東京生活から地元に戻り、すっかり由利本荘の虜になった私は、初めて自分のまちと向き合います。2010 年「鳥海山頂美術館開館」が初めての社会貢献活動、何もない自分がまちの為にいったい何ができるのか？そんな想いを周りの仲間達に支えられ形にできた瞬間でした。

「みんながまちを好きになればもっとまちは良くなる」。とても単純ですがこの考えは今でも私のまちづくり活動の根源です。「こどもは未来」をテーマに起業したのが 2014 年、そこで出会う方々はそれぞれにまちへの想いを抱き、そしてただただ由利本荘市民として幸せに暮らしたいと願う同志でした。その一方で自分には何もできない、何をしたらいいかわからない、でも何かしたいという沢山の葛藤を知り、辿り着いたのが市民と市政のプラットフォームづくりです。まずは年代問わずいつでもしっかりと繋がれること。みんなでつくる、みんなのまちを目指します。

1 自然を守る市へ

「東京には何もないが由利本荘市には全てある」上京後、由利本荘市へ戻るきっかけを一言で表すとすれば「ありのままの自然の中にある人間の暮らし」です。何か建物を造ることも、海や山を切り崩すことも、今の人間の技術では非常に容易く、その一方でそれらを元に戻すことは大変難しい、途方もない時間を要する難題となります。特に近年の市政の方針はその建造物そのものの意味よりも、建てること自体へ意識が向いているとも言われています。この自然を観光資源に、という場合にも同じこと、自然に敬意を表し、地元の人間が愛し敬い守りゆく姿勢がなければ本当の魅力は伝わらないからです。

街づくりとは、いかに市税や国税をうまく使うか、ということだけでなく、市民が市民たる誇りをいかに持ち続けられるかということがとても重要になります。自然を守る姿勢なくして活かす策なし。市の最大の宝である自然を守り、そして活かします。

2 子どもが育つ市へ

<子ども = 未来> そのもの。

子どもの数が凄まじい勢いで減り続ける日本において、今を生きる子どもたちの個々の心体の成長と郷土愛を育てることは、そのまま今後の街の未来にとっての最重要課題であることは疑いようありません。

2014 年～鳥海山木育推進センター設立（秋田県で最初の木育推進活動）

2016 年～ゆり支援学校の生徒たちと「ままごとキッチン」共同開発

2018 年～鳥海山遊育プロジェクト（自然を、まちを遊びを通して"体験"する）

2020 年 鳥海山頂美術館 10 周年クリアファイル贈呈（由利本荘市、にかほ市の小学生）

私自身もかつての由利本荘市の子どもであり、そして今ここで子育てをする父親でもあります。

私は、まちをつくりあげる様々な選択肢に対して、今の子どもたち、その子どもたちが大人になる世界にとっての最善は何なのかという基準を持って選び、その「最善」について考え続けます。

子どもたち、孫たちの為のまちづくりをしていきましょう！

誰にでもできるまちづくり

選挙はこんなにも楽しい！を発信しています。

発行 **マツモトマナブ☆サポーターズ**

〒018-0604 由利本荘市西目町沼田字新道下 512-8

☎ 070-8530-1036 FAX 0184-74-6178

✉ supporters@matsumotomanabu.com



<https://matsumotomanabu.com>



☆入会希望は HP フォーム、
メール、電話で

